

新春 座談会

市長とまちづくり市民会議メンバー

夢のあるまちづくり やすらぎのまちづくり



新しい年を迎えました。
未来につづく、夢あるまちづくりをすすめるために、
市長とまちづくり市民会議の皆さんと、明日のまちづく
りを語っていただきました

市長 あけましておめでとうござい
ます。
昨年は「まちづくり市民会議」を
設置しまして、皆さんには積極的に
メンバーに加わっていただきました。
将来の留萌のまちづくりについて、
熱のこもった議論になりましたが、

感想はいかがでしたか。
対馬 非常に良かったと思います。
市民のコンセンサスを得るため、今
後は市が長期計画をつくる段階で、
具体的な内容についても委員会のメ
ンバーから意見を聞き、生かしてほ
しいと思います。

- 座談会出席者
- 留萌市長 長沼憲彦
 - 対馬 健一さん(見晴町1丁目)
さんぎょう部会
 - 田村 裕さん(南町2丁目)
くらし部会
 - 井手 圭子さん(野本町)
やすらぎ部会
 - 財津いとえさん(幸町2丁目)
かんきょう部会

一方的に言ったという状態ですか
ら、それをうまく「すり合す」こ
とで今後の議論を進めていくことが
必要だと思います。
財津 私は友達に誘われ気軽に入り
ました。メンバーの中にはとても詳
しい方がたくさんいました。今後は
皆さんの意見をまとめ、専門的なこ
とを掘り下げていった方が良いです



(左から井手さん、財津さん、市長、対馬さん、田村さん)



市民参加のまちづくりを

ね。 本当にたくさんの人からいろんな
意見が出まして、聞くだけでも勉強
になりました。
市長 もちろん、専門的なご意見も
貴重ですけど、ごく普通の市民とい
う立場からの率直な意見も大切なこ
とだと思います。

強い気持ちで伝わってきますね。
市民会議の中に、女性のみなさん
の参加が非常に多く、積極的に活躍
していただいたのが印象的で、大変
良いことだったと思います。
それでは、みなさんが留萌のまち
にどんな夢をお持ちなのか聞かせて
下さい。

海・港のまちづくり



暖かい気持ちで話しができました

対馬 港湾がひとつのテーマになる
と思います。港を交通体系の一分野
として考えると、陸上の道路、例え
ば高規格道路と一体となって初めて
生かされると思います。
港湾については、これまでかなり
投資し、関連業界は港湾に興味を持
っていますが、実際、港町といいな
がら、商店街や市民の方は意外に関心
を持っていないのが実態だと思います。

留萌のまちづくりをするうえで、
港湾都市、港町として留萌をどう生
かしていくかをテーマにして進めて
ほしいと思いました。
そのためには、商店街や市民の方
がもっと関心を持って、市民ごぞつ
での運動としなければならぬと思
います。
フェリー就航は地元にとってプラ
スだと思しますので、いかに必要か
ということをもっとアピールすべき
だと思います。

市長 そうですね。市民のみなさん
の意見を聞きますと、やはり留萌は
海や、港という気持ちが大変強く持っ
ていると思います。留萌港は、これ
まで長い時間をかけてつくってきま
した。

これからは、フェリーの就航など、
港がどう活用できるか、未来の夢を
市民のみなさんと行政が一緒になっ



市民ごぞつでの運動を

て考えていきたいと思っています。
将来の留萌の発展は、地域の特徴
をきちんと認識し、それをどのよう
に生かしていくのかということから
始めていかないと難しいと思います。
その大きな方向の一つが港だと思
います。

対馬 港は物流の拠点、交通体系の
拠点としてだけではなく、市民の生
活空間としての活用も必要だと思
います。レクリエーション機能や防災
機能を持った港、市民に身近な活用
方法も取り入れてはどうでしょうか。
市長 そうですね。港というのは経
済面だけではなく、多くの人々のい
こいの場所という機能も必要だと思
いますので、新しい総合計画の中で
検討していきます。

田村 自分たちがこのまちにいて良
かったなーということが基本にある
と思います。副港の再開発や水に親
しむ空間の問題も今後考えていかな
ければならないと思います。

田村 長期計画を作る段階で、この
ような市民会議を持ったことは非常
に良かったと思います。あまり否定

田村 長期計画を作る段階で、この
ような市民会議を持ったことは非常
に良かったと思います。あまり否定